

ユーザー中心設計のための試作活用技術に関する研究

Study on Prototype Utilization for User-Centered Design

ものづくり支援センター 印南 小冬・万城目 聡・安田 星季
大久保 京子・高木 友史

■研究の背景

デザイナーが開発に関与したことがない中小製造業では、製品開発における「試作」は設計が出来上がってから機能を確認するためのものとなっており、開発の初期段階から簡単な試作を使ってユーザーの声を取り入れるという方法があまり知られていません。そこで本研究では、道内製造業における試作活用の状況調査や、製品開発ケーススタディ、また会場主催のデザインセミナーの実施を通じて得られた知見を整理し、ユーザーを中心に考えた製品開発のためのデザイン試作ガイドを作成しました。

■研究の要点

1. 道内製造業における試作活用の実態調査
2. 試作を活用したユーザー中心設計のケーススタディ
3. デザイン試作ガイドの作成



■研究の成果

1. 調査結果から、製品開発へのデザイナーの関与が、ユーザー視点を取り入れた試作の活用につながっていることが確認できました。
2. ケーススタディにより、デザイナーでなくとも簡易な試作を製品開発に取り入れることが可能であることがわかりました。また、簡易試作により開発チーム内でのアイデア共有がスムーズになるなどの効果があることもわかりました。
3. デザイン試作ガイドを作成し、Web上で試用を行っているほかセミナーなどでも活用しています。
4. 本ガイドにより、企業等においてユーザー中心設計による使いやすく顧客に受け入れられやすい製品開発が期待されます。